

2024年2月から施行!

Gmail送信者ガイドライン 解説&対応ガイドブック

Gmail新ガイドライン対応済み


----- メール配信システム -----
 **blastmail**



1. Gmail送信者ガイドラインの概要と対応方法
2. ブラストメールの対応
3. まとめ&やるべきことチェックリスト

1. Gmail送信者ガイドラインの概要と対応方法
2. ブラストメールの対応
3. まとめ&やるべきことチェックリスト

2023年10月にGoogle社が下記を発表しました。

 **重要:** Gmail では 2024 年 2 月以降、Gmail アカウントに 1 日あたり 5,000 件以上のメールを送信する送信者に対し、1. 送信メールを認証すること、2. 未承諾のメールまたは迷惑メールを送信しないようにすること、3. 受信者がメールの配信登録を容易に解除できるようにすること、の 3 つが義務付けられます。詳しくは、[1 日あたり 5,000 件以上のメールを送信する場合の要件をご覧ください](#)。

メール配信を行う全企業は下記の要件を守る必要がある

- ① 送信メールを認証すること (DKIM・SPFどちらかを設定)
- ② メール送信時にTLS接続を行う (TLS接続の配信システムを導入すれば問題なし)
- ③ 迷惑メール率を0.3%以下にする
- ④ 独自ドメインを使用する (フリーメールのアドレスからの配信は危険)

1日あたり5,000件以上のメールを送信する送信者は以下の2つも必須

- ① 送信メールを認証すること (DKIM・SPF・DMARCの全てを設定)
- ② 受信者がメールの配信登録を容易に解除できるようにする

↳ 2024年6月以降に商用メールやプロモーションメールを配信する際、

ワンクリック解除フォームの設置が義務化

Google公式：メール送信者のガイドラインに関するよくある質問ガイドラインのQ&Aより

送信ガイドラインの適用スケジュールについて教えてください。



一括送信者に対する措置は、Googleのメール送信ガイドラインの要件を満たさない場合に段階的に行われます。

2024年2月より、要件を満たしていない一括送信者は、非準拠のメールトラフィックのごく一部で一時的なエラー（エラーコードを含む）を受け取るようになります。これらの一時的なエラーは、送信者がガイドラインに準拠していないメールトラフィックを特定し、コンプライアンス違反の原因となった問題を解決できるようにするためのものです。

2024年4月より、非準拠のメールトラフィックは一定の割合で拒否され、拒否率は徐々に引き上げられます。たとえば、送信者のトラフィックの75%が要件を満たしている場合、残りの25%のうち、一定の割合で非準拠のトラフィックが拒否されるようになります。

一括送信者は、2024年6月1日までに、すべての商用メール、プロモーションメールにワンクリックでの登録解除を実装する必要があります。

blastmail 1日あたり 5,000 件以上のメールを送信する対象とは？

- 5,000件のカウントは**個人用Gmailアカウント**が対象 ⇒ **gmail.com / googlemail.com が対象**
(企業ドメインのGoogle Workspace アカウントは対象外です)
- 社内外問わず、**xxx@gmail.com宛に送るメールすべて**が対象
送信回数（一括配信）や、社内向け、顧客向け問わず1日5000件以上
- **自動送信メール**なども対象
システム入力後に自動でメールが飛ぶ設定がある場合なども注意

blastmail 1日あたり 5,000 件以上のメールを送信する対象とは？

- 5,000件のカウントの対象になる送信者はプライマリドメイン単位
↳サブドメインで分けて配信をしても同一とみなされる。

例) この場合でも5,000通を送信する送信者としてみなされる

〇〇〇〇@blastmail.jp から3000通を配信

↳プライマリドメイン

〇〇〇〇@support.blastmail.jp から2000通を配信

↳サブドメイン

- 5,000件越えの配信を一度でもすると、半永久的に一括送信者判定となる

1日あたり 5,000 件以上のメールを送信する場合の要件 [^](#)

2024 年 2 月 1 日以降、Gmail アカウントに 1 日あたり 5,000 件を超えるメールを送信する送信者は、このセクションに示す要件を満たしている必要があります。

- ドメインに SPF および DKIM メール認証を設定します。
- 送信元のドメインまたは IP に、有効な正引きおよび逆引き DNS レコード (PTR レコードとも呼ばれます) があることを確認します。[詳細](#)
- メールを送信に TLS 接続を使用します。Google Workspace で TLS を設定する手順については、[メールのセキュアな接続を必須にするをご覧ください](#)。

内容をまとめると・・・

DKIM ドメインと一致している必要があります。これは [DMARC アライメント](#) に合格するために必要です。

- マーケティング目的のメールと配信登録されたメールは、ワンクリックでの登録解除に対応し、メッセージ本文に登録解除のリンクをわかりやすく表示する必要があります。[詳細](#)

2024 年 2 月 1 日より前に 1 日あたり 5,000 件を超えるメールを送信する場合も、できるだけ早くこの記事のガイドラインに沿って対応してください。この期限までに送信者の要件を満たすことで、メールが確実に配信される可能性が高まります。この記事の要件を満たしていない場合、メールが想定どおりに配信されなかったり、迷惑メールに分類されたりする可能性があります。メール配信に関して問題が発生した場合は、[トラブルシューティング](#)をご

【送信担当者側】

- ① 電子メール認証（SPF・DKIM・DMARC）の必須化
- ② メール送信にTLS接続を使用する
- ③ 迷惑メール率を0.3%以下にする
- ④ 受信者がメールの配信登録を容易に解除できるようにする
- ⑤ メールサービスプロバイダを利用する

【配信システム側】

- ⑥ ワンクリックでの登録解除を有効にする
- ⑦ メール形式はRFC5322に準拠する
- ⑧ PTRレコード設定の必須化
- ⑨ ARCヘッダー設定の必須化

【送信担当者側】

- ① 電子メール認証（SPF・DKIM・DMARC）の必須化
- ② メール送信にTLS接続を使用する
- ③ 迷惑メール率を0.3%以下にする
- ④ 受信者がメールの配信登録を容易に解除できるようにする
- ⑤ メールサービスプロバイダを利用する

【配信サービス側】

- ⑥ ワンクリック
- ⑦ メール
- ⑧ PTRレ
- ⑨ ARCレ

メール配信サービスを提供している会社が対応

① 電子メール認証（SPF・DKIM・DMARC）の必須化

メール送信認証である3つ（SPF・DKIM・DMARC）の設定が義務付けています。

※SPF認証とは

電子メールの送信元ドメインが詐称されていないことを確認する仕組み

※DKIM認証とは

メールを送信する際に送信元が電子署名を付け、受信者がそれを検証することで、送信者のなりすましやメールの改ざんを検知できるようにする仕組み

※DMARC認証とは

SPF・DKIMのうち片方でも認証が通らないケースに対し、受信者に拒否させる設定などを行うことで、送信者自ら第三者のなりすましを防ぎ、メールの信頼性を高める仕組み

① 電子メール認証（SPF・DKIM・DMARC）の対応方法

すべての設定を行うことにより迷惑メールに振り分けられる可能性を大幅に減らすことができます。必ず設定することを推奨します。

SPF : DNSサーバでの作業

DNSサーバにてメール配信システムから提供されるSPFレコード情報を記述する。

DKIM : メール配信システムでの作業 & DNSサーバでの作業

配信システムの管理画面でDKIM署名および鍵を設定する。

DKIMには2つの種類がありますが、原則「作成者署名」の設定が必要です。

DMARC : DNSサーバでの作業

DNSサーバにてDMARCレコード（TXTレコード）を登録する。

② メール送信にTLS接続を使用する

暗号化通信であるTLS通信の利用を推奨されています。

※TLS通信とは

インターネット上のウェブブラウザとウェブサーバ間でのデータの通信を暗号化し、安全に送受信させる仕組み

※SSL通信という同様の通信技術と一緒に記載されることも

ありますが、TLSはSSLの進化バージョンにあたる一般的なセキュリティ対策です

② メール送信にTLS接続を使用する

TLS接続に対応をしているメール配信システムを利用する。

※ブラストメールは全プランでTLS接続に対応しています。

③ 迷惑メール率を0.3%以下にする

迷惑メール率は**毎日計測**され、0.1%を超えるとメール配信に悪影響が出始めます。

迷惑メールに対する言及は、下記についても開示されています。

■ 関連部分を抜粋

- Postmaster Tools* でドメインの迷惑メール率を定期的に監視する
- 迷惑メール率を0.1%未満に維持し、決して0.3%以上にならないようにする
- 迷惑メール率を低く維持すれば、一時的に急上昇してもメールがシステムによって迷惑メールとしてマークされる可能性が低くなる
- 迷惑メール率が高い状態が続くと、迷惑メールへの分類が増加する
- メール認証確認のために、Gmail アカウントに送信されたメールのチェックを行う
- メールを受け取りを承諾しているユーザーにのみメールを送信するようにする

*Postmaster ToolsはGoogle社が無償提供するGmailアカウント迷惑メール率監視ツール

③ 迷惑メール率を0.3%以下にする

● 特定電子メール法に準拠する

【ポイント】

- ・ オプトイン(個人情報取得)が取れているリストに送る
- ・ オプトアウト=解除フォームを必ず設定する
- ・ 送信者表示(送信者情報・連絡先)を入れる

● その他の有効な方法

- ・ リスト内にトラップアドレスがないかチェックする
- ・ リストクリーニングを定期的(目安は月1回)に行う
- ・ 古いリストや購入リストは別グループで配信をしながらリストを育てていく

④ 受信者がメールの配信登録を容易に解除できるようにする

受信者がメールの配信解除を簡単にできることを要求しています。
また、マーケティング目的のメールを送信する場合には、
メッセージ本文に登録解除のリンクをわかりやすく表示する必要があります。

※安易に解除=ワンクリックで配信解除ができるのが望ましいです。

※営利目的の広告宣伝メールへの オプトアウト = 解除フォーム設置 は以前より
特定電子メール法で定められています。

※Google基準での”マーケティング目的”の定義やその判別方法は不明

④ 受信者がメールの配信登録を容易に解除できるようにする

営利目的の広告宣伝メールには解除フォームを必ず設定しましょう。

※ブラストメールは全プランでワンクリック解除のリンクをご利用いただけます。

※配信システムの「解除フォーム」機能などをご活用ください

※配信システム以外でオプトアウト管理をしている場合は、
リンクなどの解除導線を設置してください

**2024年6月以降、商用メールやプロモーションメールに
ワンクリック解除を付けることが義務化されます**

⑤ ドメインプロバイダ（独自ドメイン）を利用する

Gmail(xxx@gmail.com)を送信元として配信すると迷惑メール判定や破棄されます。
独自ドメインで配信しましょう。

※独自ドメイン未取得の場合、ドメインの取得をご検討ください。

下記の主要ドメイン取得会社5社は、SPF設定方法を掲載しています。

（お名前.com、さくらインターネット、XSERVER、ムームードメイン、バリュードメイン）

⑤ ドメインプロバイダ（独自ドメイン）を利用する

Googleや他の大手フリーメーカーについても基本的に送信元として設定することを推奨していません。独自ドメインでの配信が推奨です。

※ドメインとはインターネット上の住所を指します。

WebサイトのURLやメールアドレスの中で使われており、独自ドメインを取得すれば自由な文字列で作成できるため、自社の認知や信頼感を高めることができます。

ブラストメールでは、配信用の独自ドメインを無料で貸し出し

追加料金なしで独自ドメインからの配信が可能になります。
詳しくはお問い合わせください。

ガイドラインに準拠しなかった場合、以下のようなリスクが発生します

- ・ 迷惑メールに分類される可能性が高くなり、到達率や開封率が低くなる
- ・ 共有IPアドレスを使用する（メール配信システムなどを使う）場合、送信者のアクティビティが使用する他の送信者全体の評価に影響する
- ・ ブラックリストに登録された場合、一斉配信のみならずすべてのメールが正常に送信できなくなり
Webサイトなどにも影響が出る可能性がある。
(解除申請をしても解除までに数日～数週間以上が必要になる場合が多い)

1. Gmail送信者ガイドラインの概要と対応方法
2. **ブラストメールの対応**
3. まとめ&やるべきことチェックリスト

本件における、システムへの影響（弊社側での対応）について

【弊社側での対応について】

- ⑥ ワンクリックでの登録解除を有効にする
- ⑦ メール形式はRFC5322に準拠する
- ⑧ PTRレコード設定の必須化
- ⑨ ARCヘッダー設定の必須化

→ブラストメールは上記の全てに対応しております。

その他にも **送信元アドレス貸出サービス** をリリースしました（追加料金無し）

フリーメールアドレス(@gmailや@yahoo.co.jp)しか持っていない方でも、
独自ドメインからの配信が可能になり、メールの到達率が向上します。

1. Gmail送信者ガイドラインの概要と対応方法
2. ブラストメールの対応
3. **まとめ&やるべきことチェックリスト**

【送信担当者側】

- ① 電子メール認証（SPF・DKIM・DMARC）の必須化
- ② メール送信にTLS接続を使用する
- ③ 迷惑メール率を0.3%以下にする
- ④ 受信者がメールの配信登録を容易に解除できるようにする
- ⑤ メールサービスプロバイダを利用する

【配信サービス側】

- ⑥ ワンクリック
- ⑦ メール
- ⑧ PTRレ
- ⑨ ARCレ

メール配信サービスを提供している会社が対応

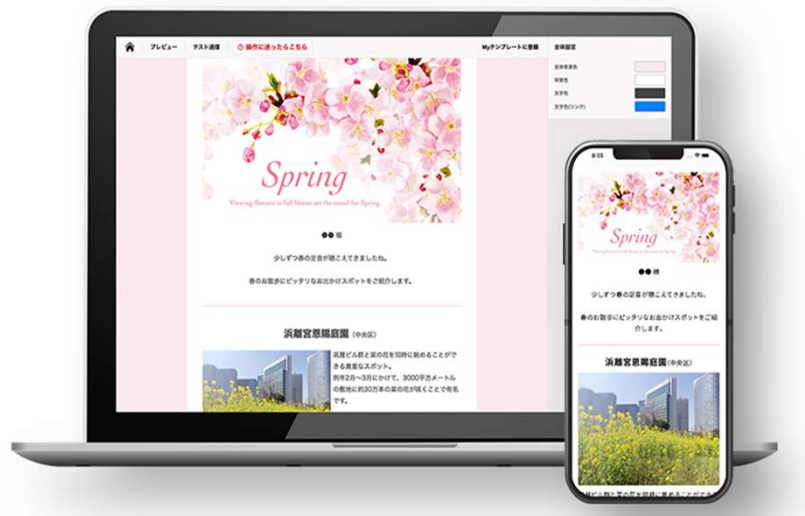
ガイドライン施行前

- SPF・DKIM・DMARCを設定する
- 配信リストのチェック（オプトインが取れているリスト）
- Postmaster Toolsの準備
- TLS通信を準備する ※TLS未契約の場合のみ
- 独自ドメインを準備する ※独自ドメイン未取得の場合のみ

ガイドライン施行後

- 独自ドメイン・TLS通信で配信する
- 広告宣伝目的のメールにはワンクリック解除フォームを入れる
- 定期的にもリストクリーニングをする（タイポ/無効アドレスの除外）
- 定期的にもPostmaster Toolsで監視する

 メール配信業界シェア
圧倒的No.1



Gmailガイドライン変更に対応済み

DKIMはもちろん、SPFレコードも公開

送信元アドレスの貸出サービス

独自ドメインからの配信が可能 (追加料金無し)

業界最安クラスの価格でご提供

本当に必要な機能だけを厳選



「無料」でメール配信をお試しいただけます！

全プラン配信数無制限

幅広いプランを圧倒的低価格で提供します

プラン名	Lightプラン	Standardプラン <small>おすすめ</small>	Proプラン <small>コンサル付き</small>
特徴	手軽にメール配信をはじめたい方向け 基本機能のみのシンプルプラン	メールをより確実に届けたい方向け 全機能利用できる標準プラン	5万アドレス以上の大規模配信向け 専任担当によるコンサル付きプラン
HTMLメール配信	✓	✓	✓
差し込みコード	✓	✓	✓
ターゲット配信	✓	✓	✓
開封率	✓	✓	✓
クリック測定	✓	✓	✓
エラーカウント	✓	✓	✓
登録フォーム	✓	✓	✓
ワンクリック解除	✓	✓	✓
迷惑メール対策機能	—	✓	✓
IPアドレス制限	—	✓	✓
リストクリーニング	—	—	✓

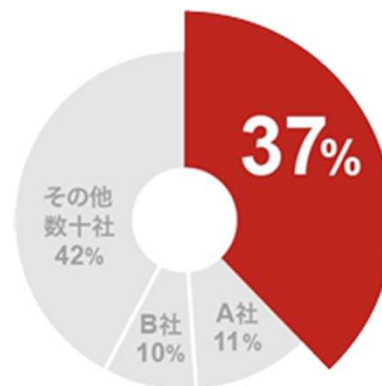
プラン名	Lightプラン	Standardプラン <small>おすすめ</small>	Proプラン <small>コンサル付き</small>																												
特徴	手軽にメール配信をはじめたい方向け 基本機能のみのシンプルプラン	メールをより確実に届けたい方向け 全機能利用できる標準プラン	5万アドレス以上の大規模配信向け 専任担当によるコンサル付きプラン																												
価格 <small>※価格は全て税抜きです</small>	<p>月額 4,000円 初期費用 10,000円 (契約期間1年で半額)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録アドレス数</th> <th>月額費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0~5,000件まで</td> <td>4,000円</td> </tr> </tbody> </table>	登録アドレス数	月額費用	0~5,000件まで	4,000円	<p>月額 8,000円~ 初期費用 10,000円 (契約期間1年で半額)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録アドレス数</th> <th>月額費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0~10,000件まで</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>20,000件まで</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>30,000件まで</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>50,000件まで</td> <td>30,000円</td> </tr> </tbody> </table>	登録アドレス数	月額費用	0~10,000件まで	8,000円	20,000件まで	15,000円	30,000件まで	20,000円	50,000件まで	30,000円	<p>月額 30,000円~ 初期費用 50,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録アドレス数</th> <th>月額費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0~60,000件まで</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>70,000件まで</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td>80,000件まで</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>90,000件まで</td> <td>45,000円</td> </tr> <tr> <td>100,000件まで</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>200,000件まで</td> <td>100,000円</td> </tr> </tbody> </table>	登録アドレス数	月額費用	0~60,000件まで	30,000円	70,000件まで	35,000円	80,000件まで	40,000円	90,000件まで	45,000円	100,000件まで	50,000円	200,000件まで	100,000円
	登録アドレス数	月額費用																													
0~5,000件まで	4,000円																														
登録アドレス数	月額費用																														
0~10,000件まで	8,000円																														
20,000件まで	15,000円																														
30,000件まで	20,000円																														
50,000件まで	30,000円																														
登録アドレス数	月額費用																														
0~60,000件まで	30,000円																														
70,000件まで	35,000円																														
80,000件まで	40,000円																														
90,000件まで	45,000円																														
100,000件まで	50,000円																														
200,000件まで	100,000円																														

契約社数22,000社以上

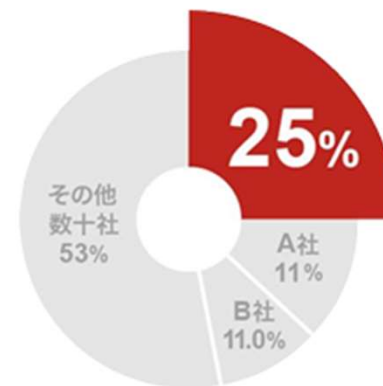
メール業界シェア

圧倒的No.1

※デロイト トーマツ ミック経済研究所「ミックITリポート2023年8月号:クラウド型eメール一斉配信サービスの市場動向と中期予測（売上高/アクティブ法人顧客数）」



新規契約顧客数



稼働顧客数



ブラストメールの製品資料DLはこちらから

無料

録画配信

blastmail

初心者のための「メルマガ配信」基本講座

株式会社ラクスライトクラウド
イベントマーケティング 責任者
黒川 和樹



お申し込み後、
すぐにご視聴していただけます



メルマガ配信の基本から応用テクニックまでを大公開！

プラン名	Lightプラン	Standardプラン おすすめ	Proプラン コンサル付き																												
特徴	手軽にメール配信をはじめたい方向け 基本機能のみのシンプルプラン	メールをより確実に届けたい方向け 全機能利用できる標準プラン	5万アドレス以上の大規模配信向け 専任担当によるコンサル付きプラン																												
価格 <small>※価格は全て税抜きです</small>	<p>月額 4,000円 初期費用 10,000円 (契約期間1年で半額)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録アドレス数</th> <th>月額費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0~5,000件まで</td> <td>4,000円</td> </tr> </tbody> </table>	登録アドレス数	月額費用	0~5,000件まで	4,000円	<p>月額 8,000円~ 初期費用 10,000円 (契約期間1年で半額)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録アドレス数</th> <th>月額費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0~10,000件まで</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>20,000件まで</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>30,000件まで</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>50,000件まで</td> <td>30,000円</td> </tr> </tbody> </table>	登録アドレス数	月額費用	0~10,000件まで	8,000円	20,000件まで	15,000円	30,000件まで	20,000円	50,000件まで	30,000円	<p>月額 30,000円~ 初期費用 50,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録アドレス数</th> <th>月額費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0~60,000件まで</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>70,000件まで</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td>80,000件まで</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>90,000件まで</td> <td>45,000円</td> </tr> <tr> <td>100,000件まで</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>200,000件まで</td> <td>100,000円</td> </tr> </tbody> </table>	登録アドレス数	月額費用	0~60,000件まで	30,000円	70,000件まで	35,000円	80,000件まで	40,000円	90,000件まで	45,000円	100,000件まで	50,000円	200,000件まで	100,000円
	登録アドレス数	月額費用																													
0~5,000件まで	4,000円																														
登録アドレス数	月額費用																														
0~10,000件まで	8,000円																														
20,000件まで	15,000円																														
30,000件まで	20,000円																														
50,000件まで	30,000円																														
登録アドレス数	月額費用																														
0~60,000件まで	30,000円																														
70,000件まで	35,000円																														
80,000件まで	40,000円																														
90,000件まで	45,000円																														
100,000件まで	50,000円																														
200,000件まで	100,000円																														



会社名 株式会社ラクスライトクラウド
事業内容 クラウド型ソフトウェアサービスの提供
所在地 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5
リンクスクエア新宿7F
代表取締役 浅野 史彦
資本金 1800万円
TEL 03-6675-9281
FAX 03-5361-6106

URL <https://blastmail.jp>
関連会社 株式会社ラクス
<https://www.rakus.co.jp/>
取引銀行 三菱UFJ銀行
資格等 プライバシーマーク取得番号
第10821806号
一般第二種電気通信事業者
A-15-5714

